

「新時代に対応した高等学校改革支援事業（普通科改革支援事業）」

文理探究科通信

No.2

令和6年7月23日発行

発行 文理探究科推進委員会

7月11日（木）に2年生「KQⅡ」でアカデミックインターンシップを実施しました。生徒は、探究テーマによって北海道教育大学釧路校、釧路公立大学、釧路工業高等専門学校の3校に分かれて訪問しました。各校での学習内容と生徒の感想を紹介します。

【 北海道教育大学釧路校 】参加生徒76名

午前は大学概要の説明と「探究とは」の講義を受講し、学内見学・図書館見学では、探究テーマに関する書籍探しについて学びました。午後は「探究計画相談」として9つの班に分かれ探究計画を発表し、担当の先生から今後の探究活動の進め方について指導していただき、最後に「今後の探究活動に向けたメッセージ」の講義を受講しました。



「生徒の感想」

- ・探究のテーマには、それぞれ向き合い方や捉え方に違いがあり、それぞれに適切なアプローチ方法があるということが分かった。また、普段学習している教科の役割も向き合い方や捉え方を用いることで整理することができ、探究テーマとの繋がりを発見できると分かった。大学の先生と話すことで、新しい考え方も学ぶ事ができた。
- ・探究活動の途中でうまくいかなかったときは、「質問・疑問マトリクス」を活用して、自分たちの疑問を明確にして進めていこうと思った。
- ・アンケートについて多くの事を教えていただいた。対象を限定し、答えを導きやすくする。また、使用する言葉や質問も注意深く考える必要がある。使う言葉の定義や、何を答えれば良いの分かりにくい質問は作ってはいけないなど、自分達が本当に調べたい答えを導き出せるようにしたい。



【 釧路公立大学 】参加生徒74名

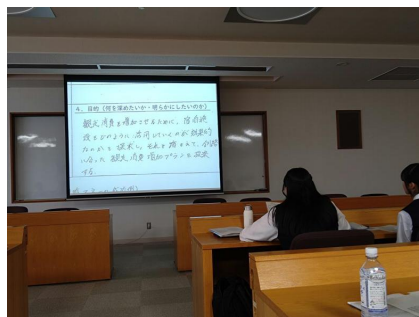
午前は大学案内と「学生時代に学び、探究すること」の講義を受講し、「探究課題と計画に関する相談」で5つの班に分かれ、探究計画を発表し課題の立て方などを学びました。午後は探究計画の修正を行い、改訂版探究計画を作成する作業をして、最後に学習の成果を各グループの代表が発表しました。



「生徒の感想」

- ・下調べが重要であること。調べたことは説明できなければならないこと。テーマと仮説にズレがあってはならないこと、インターネットだけでなく本を読むことなどを、学ぶ事ができた。
- ・「探究とはワクワクドキドキするもの」、指導してくださった先生が1番大切にしてほしいと話されていた。また、アンケートを用いた調査法について指導していただいた。

- ・今回のアカデミックインターンシップで「動機」や「目的」が単一的なものになっていないか見直し、探究テーマと同時期の国際比較や社会問題との視点も取り入れた方がよいということ。探究テーマが大きすぎたり歴史のifは控えるようにする。仮説は、動機と目的との整合性を意識して導くようにすること。通説や「たれば」よりも「自分たちはどう思うか」や新説も組み込むこと。ワクワクするような探究テーマにすることなどを、教えていただいた。



【 釧路工業高等専門学校 】 参加生徒48名

午前に授業・実験や施設内の見学、フィンランドから留学生との交流を行いました。施設見学では普段目にする機会のない様々な機器を見せていただき触れる機会を持つことができました。午後は10研究室を訪問し、担当の先生から探究活動を進めるための留意事項の指導を受け、地域の課題について学生の皆さんとディスカッションし、最後に感想・気づき報告会で各グループの代表が学習の成果を発表しました。



「生徒の感想」

- ・留学生との交流で、フィンランドの医療サービスの充実や子どものための病院の診療体制などを聞くことができた。私達の探究テーマは、釧路工業高等専門学校とは縁のないテーマだと考えていたが、先生の研究内容をお聞きして、自分たちだけでは気付けなかった別の視点から、もう一度アプローチすることができるのではないかと分かった。今後の探究も一つの視点にとらわれず、多方面から見るのが大切だと知ることができた。
- ・自分たちの考えを可視化するという事は、物事が整理できて簡単なことだけれど大事だと思った。私達は探究ルームで話し合うことが多いため、ホワイトボードを活用して自分たちの考えを可視化して、どの情報が必要なのか取捨選択するようにしたい。
- ・実際に卒研生の方とお話をさせていただき、アイデアの出し方・進め方・まとめ方と早いスピードで一連の流れが進められており、とても参考になった。探究している内容に関する研究資料を提供していただいたので、しっかり活用していきたい。



アカデミックインターンシップの実施に関して、3校の先生・事務担当者の皆様には、事前の打ち合わせの段階から様々なご配慮をいただき、無事に1回目の事業を終了することができました。生徒も多くを学ばせていただきました。ありがとうございました。